

石山徹郎 いしかや てるお 國文學者。明治二十一年八月十八日秋田縣生れ。昭和二十一年七月二十日没（八六—八九）。大正二年東京帝國大學文科大學國文學科卒。中學教員、日萬朝報記者を経て、九年北海道帝大豫科教授、十二年松江高等學校教授。翌年大阪府女子專門學校教授。終戦直前栄養失調症で死去。

譯著書、ポトリ一著『埃及美術史』（譯、大正五年五月七日向陵社）『美術叢書』（、ベル著『埃及建築史』（譯、大正五年八月、千四百向陵社）『美術叢書』（、日本文藝學概説』（再版、昭和六年四月十日大倉廣文堂）、『日本文學叢書』（昭和九年九月十五日大倉廣文堂）、

『明治人止文學新選・明治篇』（吉田孝次郎共編、昭和十一年七月五日白帝社）、『現代短歌』（昭和十四年九月、十五日日本評論社）『日本古典讀本』（、『日本談話文學索引』（平林治徳、境田四郎共編、昭和十八年

七月、千日本出版社）、『藝文論』（昭和二十二年四月十日日本評論社）、『日本藝文史論』（昭和二十二年十月十日伊藤書店）等。

文獻、文藝學談話會編『文藝學の諸問題』（石山徹郎記念論文集）（昭和二十二年七月十五日伊藤書店）等。